

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

多機能型事業所あじさい浜町

公表日

令和 8年 2月 16日

利用児童数

令和 8年 2月 13日 回収数 18

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	13	3	2	・専門的な視点に基づく、具体的でわかりやすい助言があり、実践につながりやすい。 ・相談時には丁寧に説明してもらえ、子ども理解が深まっている。 ・あじさいでの様子の共有など、情報交換が有益である。 ・支援員側からのより積極的な提案を望む。 ・集団場面では個別支援の実践に難しさを感じることもある。	・今後も専門性を活かした具体的で実践しやすい助言を継続する。 ・情報共有だけでなく、支援員側からも積極的に支援方法を提案する。 ・集団場면을想定した支援方法や応用例についても具体的に提示する。 ・園での実践状況を確認しながら、継続的なフォローと助言を行う。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13	4	1	・子ども一人一人に寄り添った丁寧な支援が行われている。 ・専門的な視点による助言があり、保育に活かしている。 ・知識・技術ともに概ね満足している。 ・今後も具体的なアドバイスを求めている。 ・情報共有が中心となる場合や、状況によって指示が通りにくい場面がある。	・一人一人に寄り添った丁寧な支援を継続する。 ・専門的視点を活かした具体的な助言を行う。 ・知識・技術の維持向上に努める。 ・子どもの特性に応じた具体的な提案を行う。 ・情報共有に加え、状況に応じた実践的な関わり方を示す。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	0	2	・質問に対して丁寧でわかりやすい回答がある。 ・相談しやすい雰囲気があり、適切な助言が得られている。 ・その都度一緒に考え、提案してもらっている。 ・支援時やあじさいでの様子を具体的に伝えてもらっている。 ・研修での提案が実践につながっている。	・今後も丁寧でわかりやすい回答を行う。 ・相談しやすい関係づくりを継続する。 ・状況に応じて共に考え、具体的な提案を行う。 ・支援時の様子や情報を具体的に共有する。 ・研修内容を実践に活かせるよう提案を行う。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	12	5	1	・専門職と子どもの成長を共有でき、心強さがある。 ・個別支援や声掛けの工夫により、困りごとが軽減している。 ・継続的な支援により、日々の対応や学習面の支えにつながっている。 ・希望日に訪問してもらえるなど、柔軟な対応が助かっている。 ・すぐに大きな成果が出るわけではない。 ・トイレ自立など具体的な援助方法をさらに知りたい。 ・子どもによって支援の効果やなじみ方に差があり、月2回の訪問では関係づくりが難しいと感じることがある。	・複数児への支援体制を継続し、担任の負担軽減に努める。 ・子どもの成長について専門的視点での共有を継続する。 ・具体的な関わり方や声掛けの提案を行う。 ・継続的な支援を通して日々の実践や学習支援につなげる。 ・訪問日程について柔軟な調整を心がける。 ・短期的成果だけでなく、長期的視点で支援を行う。 ・トイレ自立など具体的な課題に対する支援方法を提示する。 ・子どもの特性に応じた関係づくりや訪問の工夫を検討する。
5 事業所からの支援に満足していますか。	15	3	0	・全体として満足している。 ・子どもだけでなく保育者にも寄り添った支援がある。 ・定期的な訪問により成長を感じられている。 ・限られた時間の中でも情報共有や学習支援が行われている。 ・研修実施や迅速な対応に感謝している。 ・訪問支援以外の療育での様子がもう少し分かる仕組みがほしい。	・引き続き、全体として満足いただける支援を継続する。 ・子どもと保育者双方に寄り添った支援を行う。 ・定期訪問を通して成長の共有を継続する。 ・限られた時間の中でも情報共有や学習支援を充実させる。 ・研修や迅速な対応を継続する。 ・療育での様子について共有方法を検討し、連携を強化する。

その他のご意見

ご意見を踏まえた対応

<良い面>

- 園内研修での具体的な助言が参考になっている。
- 子どもに寄り添った丁寧な支援や見守りがあり、安心して任せられる。
- 担任一人では難しい場面でのマンパワーとして大きな助けになっている。
- 情報交換により、子どもの特性や困り感への理解が深まっている。
- 家庭状況も含めた共有により、より丁寧な支援につながっている。
- 園外保育への同行や時間調整など、柔軟な対応に感謝している。
- 子ども一人一人に合わせた対応が行われている。

<課題面>

- 日常の訪問時にも、より積極的な助言を期待している。
- 支援時間内で十分な話し合いが難しい場合がある。
- 他児との関わりや距離感に難しさを感じる場面がある。
- 交流学級での支援をより充実させてほしい。
- 訪問予定や変更連絡の行き違いがあるため、事前共有の工夫を望む。
- 困りごとだけでなく、成長面についてもより共有していきたい。

<良い面の継続>

- 具体的な助言や園内研修を継続し、専門性の向上に努める。
- 子ども一人一人に寄り添った丁寧な支援を継続する。
- 担任との支援体制を維持する。
- 情報共有を継続し、連携を強化する。
- 家庭状況も含めた総合的な支援を行う。
- 柔軟な対応を引き続き心がける。

<課題への対応>

- 訪問時にも積極的な助言や提案を行う。
- 支援時間、カンファレンスの時間をしっかりと分け情報交換ができるよう工夫する。
- 他児との関わりについて配慮しながら支援を行う。
- 交流学級での支援方法を検討・充実させる。
- 訪問予定の事前共有や連絡体制を見直す。
- 子どもの成長や強みにも目を向けた共有を行う。